

2022年度

事業報告

2022年 4月 1日から
2023年 3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

1. 事業活動

(1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

①2022年4月27日(水)

選考・審査委員会開催。2022年度奨学生として、大学院生16名の採用を決定（継続採用7名を含む）。同研究助成9件の採用を決定。

②2022年5月2日(月)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

③2022年 4月1日(金)～2023年 3月31日(金)

2022年度奨学生16名に対し、各13万円を月々支給（但し、4・5月分は15名に対し5月に支給、1名のみ6月上旬に支給）【総額：2,496万円】。2022年度研究助成 9件に対し、5月に9件に各50万円、更に同6件に対し11月に残りの50万円を支給【総額：750万円】。

④2023年1月11日(水)

2023年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（35校）宛に発送。

(2) 奨学生に対する主な奨学支援事業【総額：2,347,733円】

①2022年5月21日(土) 【支出合計額：372,594円】

「2022年度奨学生採用式」を学士会館で開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った（出席者39名）。

②2022年9月30日(金)

奨学生の「エッセイ、小論文」、研究助成者の「研究中間報告」の提出締切。奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。役員の方々にも奨学生の小論文のコピーを郵送した。

③2022年12月3日(土) 【支出合計額：1,017,911円】

年末交流会を学士会館で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた（参加者61名）。

④2023年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑤2023年3月15日(水) 【支出合計額：662,878円】

「2022年度研究報告会・送別会」を学士会館で開催した。奨学生や研究助成者に1年間の研究成果を発表してもらい、卒業者7名（修士2名、博士5名）にお祝いとして図書券を手渡した（不参加の卒業生には郵送）。研究報告会終了後、

奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、食事会を催した（出席者27名）。

⑥奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2022年8月18日(木)

「東アジア文化都市 成都文化観光映像展 開幕式」に奨学生阮欣欣さん（武蔵野音楽大学）が出演（於、日中友好会館美術館）

2) 2022年10月14日(金) 【支出合計額：14,000円】

「外国人のための能楽鑑賞教室（能：鐘馗 狂言：墨塗）」鑑賞（於、国立能楽堂）

3) 2022年11月10日(木)

奨学生陳金さん（東京音楽大学）の学位審査演奏会開催（於、東京音楽大学 TCMホール）

4) 2022年11月11日(金) 【支出合計額：28,020円】

越後妻有里山協働機構主催の「ブルーノ・マトン・メモリアルツアー」に参加（於、越後妻有里山現代美術館MonET）

5) 2022年11月26日(土)、27日(日)

2022年度研究助成事業「日中国交回復50周年記念 伝統芸術と現代社会（日中芸術家学術交流シンポジウム）」へのオンライン参加

6) 2022年12月12日(月) 【支出合計額：18,000円】

「外国人のための文楽鑑賞教室（絵本太閤記）」鑑賞（於、国立劇場小劇場）

7) 2023年1月15日(日) 【支出合計額：234,330円】

OBや奨学生の有志が理事長の誕生日を祝い、懇談（於、学士会館）

(3) その他

①新型コロナウイルスの感染状況が収まってきたことにより、今年度より理事会、評議員会を対面会議とし、採用式、年末交流会、研究発表会も再開させた。

2. 附属明細書について

2022年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上